

2015年3月期 第2四半期決算説明会 主な質疑応答（要旨）

Q1

来期（2016年3月期）の宅急便取扱数量と単価の見通しについて教えてください。

A1

- 今期（2015年3月期）の宅急便単価は、594円（前年比+3.5%）を予想しております。
- 一部のお客様との交渉を現在継続中ですので、今期ほどの上昇率は期待できないかもしれませんが、単価の絶対額としては、来期（2016年3月期）も少しずつ増加すると見ております。
- 来期（2016年3月期）の宅急便取扱数量は、景気動向にも左右されますが、ノンデリバリー事業との有機的な融合による高付加価値ソリューション提案により、伸ばしてまいります。

Q2

業界全体として、労働需給の逼迫や燃料費の上昇といったコスト上昇が見られる中、第2四半期（7月～9月の3ヶ月間）実績では、コストリダクションへの取り組みを推進したことによって、前年に対して増益を確保したというご説明でしたが、今後のマクロ的なコスト環境に対する見方とコスト管理施策について教えてください。

- 当社を取り巻くコスト環境としては、ドライバーの確保難や傭車単価の上昇等、引き続きリスク認識しております。  
一方で、業界全体の荷動き自体も想定より下回っていることから、期首、予想していたほどの逼迫状況ではないと見ております。
- 引き続き、業務量に応じた幹線輸送体制や集配体制の整備を進め、生産性向上施策を徹底してまいります。

Q3

今回、公表された自己株式の取得ならびに消却は、「DAN-TOTSU 経営計画2019」における目標ROEを達成するためとのことですが、今後も追加的な実施は予定されていますか？

また、目標ROEの達成に向けて財務レバレッジは、どのように考えていますか？

- 長期経営計画「DAN-TOTSU 経営計画 2019」・中期経営計画「DAN-TOTSU 経営計画 STEP」ならびにおいて掲げている目標 ROE は、達成するべく、今まで以上に資本政策を強化しており、財務レバレッジを効かせたバランスシートの構築を意識しております。
- 今後の資本政策の具体的な内容や実施のタイミングは、現時点では申し上げられませんが、検討課題として常に議論しております。

以上